

楽器ができる人もできない人も
歌が上手な人も苦手な人も
リズム感がある人もない人も
月に1日**万博公園**に集まって
竹を叩いたり**声**を出したりして
秋には**1000人**で大演奏会!

みんなでつくろう大演奏会プロジェクト 2010

「1000人で音楽をする日。」プロジェクト始動!

ピクニック「○人で音楽を練習する日。」

2010年5月から毎月1回開催

5/15(土) 6/12(土) 7/11(日) 8/22(日) 9/11(土) 10/11(月・祝) 14:00~16:00

参加費 無料(自然文化園入園料が別途必要です)

場所 国立民族学博物館 特別展示館地階ピロティ

※10/11は万博記念公園 自然文化園 お祭り広場で開催

演奏会「1000人で音楽をする日。」

2010年10月23日(土) 13:00~

参加費 無料(自然文化園入園料が別途必要です)

場所 万博記念公園 自然文化園 お祭り広場

主催:財団法人千里文化財団

企画・制作:「1000人で音楽をする日。」制作実行委員会

協力:国立民族学博物館

助成:独立行政法人日本万国博覧会記念機構

<http://www.1000ongaku.com/>



助成 独立行政法人日本万国博覧会記念機構
Supported by the Commemorative Organization for the Japan World Exposition '70.



万博公園賑わい創出事業

「みんなで音を奏でて、ひとつのアートをつくろう」

楽器ができる人もできない人も、歌が上手な人も苦手な人も、リズム感がある人もない人も、みんないっしょに集まって音楽を楽しんでみませんか？ フィリピンの作曲家ホセ・マセダの「ウドロ・ウドロ」は、竹や木の棒を使って、数十人からなんと数千人で演奏するものすごく壮大なスケールの曲。この曲を演奏してみたい！ 聴いてみたい！ という小さな声からこのプロジェクトは始まります。月に1度、万博公園に集まって簡単な楽器づくりから練習を行います。そしてどんどん人を増やしていったら、最終的には1000人での大演奏会を行います。

ピクニック「〇人で音楽を練習する日。」

2010年5月から毎月1回開催

- 5/15(土) 「10人で音楽を練習する日。」
- 6/12(土) 「30人で音楽を練習する日。」
- 7/11(日) 「100人で音楽を練習する日。」
- 8/22(日) 「150人で音楽を練習する日。」
- 9/11(土) 「300人で音楽を練習する日。」
- 10/11(月・祝) 「もうすぐ1000人で音楽をする日。」

時間 14:00~16:00

参加費 無料(自然文化園入園料が別途必要です)

場所 国立民族学博物館 特別展示館地階ピロティ

※10/11は万博記念公園 自然文化園 お祭り広場で開催

演奏会「1000人で音楽をする日。」

2010年10月23日(土) 13:00~

参加費 無料(自然文化園入園料が別途必要です)

場所 万博記念公園 自然文化園 お祭り広場

問い合わせ・参加申込先

財団法人千里文化財団「1000人で音楽をする日。」事務局

〒565-0826 吹田市千里万博公園1-1

電話:06-6877-8893 ファクス:06-6878-3716

電子メール:udlot_udlot@senri-f.or.jp

[WORKSHOP]

14:00-16:00 on May 15 (Sat), June 12 (Sat), July 11 (Sun),

August 22 (Sun), September 11 (Sat), October 11 (Mon)

at Special Exhibition Hall, National Museum of Ethnology, Osaka

Free of charge

[CONCERT]

UDLOT-UDLOT, stirring bamboo-sounds by 1000 players

13:00, October 23 (Sat), 2010

at The Expo Park, Osaka / Free of charge

[INQUIRY]

The Senri Foundation

1-1, Senri-Banpaku-Koen, Suita, Osaka

Phone:06-6877-8893 FAX:06-6878-3716

e-mail:udlot_udlot@senri-f.or.jp

Be now wanted 1000 players!

1000人で音楽

検索

<http://www.1000ongaku.com/>

http://www.senri-f.or.jp/udlot_udlot/

「ウドロ・ウドロ (UDLOT-UDLOT)」の解説

フィリピン人の作曲家、ホセ・マセダ(José Maceda, 1917~2004)による1975年の作品。4種類の簡単な楽器と声だけで演奏されるこの曲は「30人から数千人のための演奏者の音楽」と書かれていて、専門的に音楽を勉強したり訓練したことのない人でも演奏に参加することができるようになっています。音楽は、専門家だけのものじゃなく、誰でもがつかったり、歌ったり、楽しむことのできるもの。東南アジアの部族の音楽を調査したマセダは、そうした西洋とはちがう音楽のありかたを見つけ出し、それを出発に新しい音楽をつくらうとしました。五線譜に押し込められたヨーロッパの模倣ではないアジア自前の音楽、そのひとつが「ウドロ・ウドロ」です。マセダのこうした姿勢は、多くの人々に評価され、1975年にマニラで初演されたあと、ドイツ、日本(東京、大阪、京都、島根、福岡)、インドネシアなどで演奏されてきました。